

漁港・漁場・海岸の施設の設計にかかる相談事例

分類項目	外郭施設（防波堤）
相談タイトル	防波堤の計画天端高の設定
相談者	鳥取県
相談内容（メール質問）	<p>現在、既存防波堤の設計を「漁港・漁場の施設の設計参考図書 2015 年版」に準拠し実施しているところです。その中で、「P371 防波堤 利用性に関する性能照査」においてご相談があります。</p> <p>式 5-2-1、式 5-2-2 において、適切な偏差を加えた潮位をとるとありますが、既存防波堤の設計を確認すると施設ごとにその値にばらつきがあります。</p> <p>潮防波堤の計画天端高における潮位について、適切な偏差とはどのように考えればよろしいでしょうか。ご教示ください。</p>
相談会（メール質疑）の結果	<p>「漁港・漁場の施設の設計参考図書（以下、漁港基準）」p371 で記載のある「朔望平均満潮面 H. W. L. + 偏差」とは、言い換えると「設計潮位」のことであり、設計潮位に関しては同書 p30 に詳細に記載されています。</p> <p>偏差 η（最大潮位偏差も同義です）は漁港基準に記載のあるとおり、また、文字通りに「既往の潮位記録のなかの偏差」を用いるのが第一です。または、モデル台風から数値計算で偏差を求めることもあります。一方、p66 には波の変形の一環として「波による平均水位の上昇」に関する記述があり、これを η に加えて設定することも可能です。これらはいずれも漁港基準に記載のあるものですので、「適切な偏差」とお考えいただいても差支えありません。</p> <p>なお、今回のご相談では同一漁港の同一施設のスパン毎に η が異なっています。根拠資料がないので断定できませんが、η を「波による平均水位の上昇」で設定している場合では水深によって水位上昇量が変わりますので η はスパン毎に変わる場合があります。</p>
相談会（メール質疑）後の検討状況	